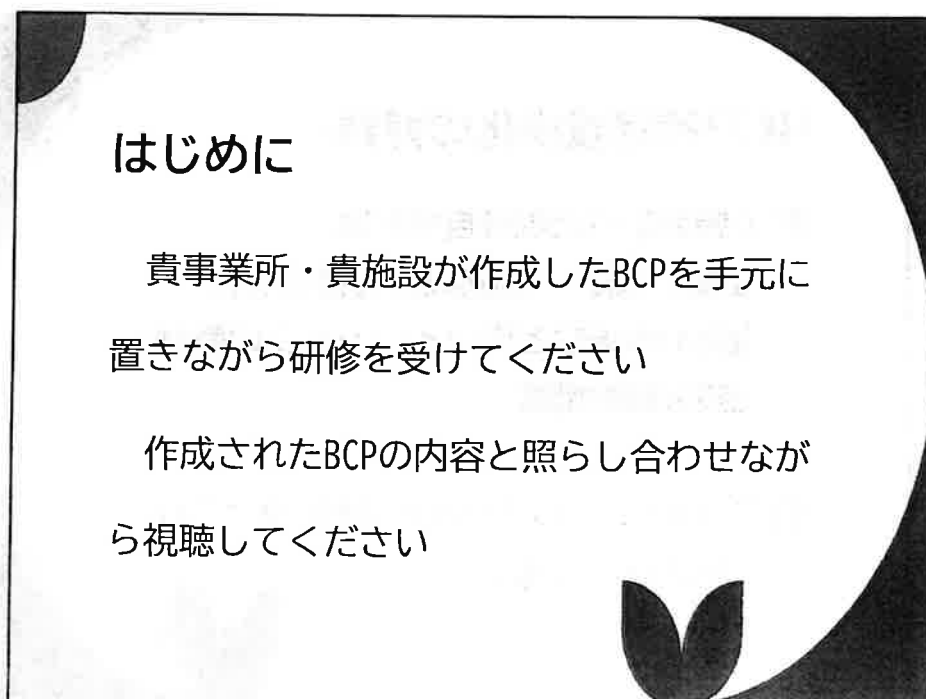


①(00:00~01:45)

②(00:00~01:30)



①(01:46～06:19)

②(01:31～06:04)

BCPとは

業務継続計画のこと

非常時においても介護サービスの提供を継続し、

または迅速に復旧するための計画

BCP策定義務化の背景

各地で頻発する大規模自然災害

台風・地震・大雨などの自然災害

電気や水道などのライフラインの断絶

施設の建物倒壊

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行

クラスターの発生

①(06:20～07:21)



Q 非常災害時、介護サービス
事業者にはどのような役割が
求められるでしょうか？

①(07:22~10:35)

基本方針

介護サービス事業者に求められる役割

- サービスの継続
- 利用者の安全確保
- 職員の安全確保
- 地域への貢献

サービスの継続

- ・介護サービス事業者はいかなる状況になっても、介護サービスを継続して提供することが求められる
- ・万が一、業務を継続することが困難になった場合でも、他事業所への引継ぎ体制を整えるなどの対策をおこない、影響を最小限にする

①(10:36～15:14)

利用者の安全確保

- ・介護サービスを利用されている人の多くは高齢者で自然災害の影響で被害を受けるリスクが高い
- ・サービス事業者は、非常時においても利用者の健康や生命が保たれるように、安全を確保することが何よりも重要



職員の安全確保

- ・災害発生時には、サービス提供の継続や業務の復旧のために、職員の負担が大きくなることもある
- ・業務負担が増加することで、労働時間が長時間に及んだり、精神的なストレスを抱えたりする
- ・非常時とはいえ、職員の心身に悪影響が生じることは望ましいことではない



①(15:15~20:37)

地域への貢献

- ・施設が無事であることを前提として、施設のもつ機能を活かし、被災時でも地域へ貢献していくことも役割のひとつ

BCPのポイント

- ・正確な情報集約と判断ができる体制を構築
- ・自然災害対策を「事前の対策」と「被災時の対策」にわけて、同時にその対策を準備
- ・業務の優先順位の整理

計画を実行できるよう普段からの

周知・研修・訓練！

①(20:38～27:20)

事前の準備

- ・被災してからの手順だけではなく、事前にできる準備を平時から取り掛かる
- ・被災による被害が大きければ大きいほど、業務の継続や復活が困難になる
- ・事前に被災を想定して、被災したとしても被害が大きくならないように準備しておくことが重要

事前準備のポイント

- ・建物・設備の安全対策
- ・電気が止まった場合の対策
- ・ガスが止まった場合の対策
- ・水道が止まった場合の対策
- ・通信が麻痺した場合の対策
- ・システムが停止した場合の対策
- ・衛生面（トイレ等）の対策
- ・必要品の備蓄
- ・資金手当

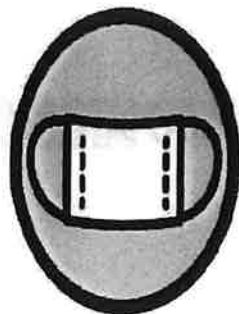
①(27:21~32:15)

Q 被災によって水道が使えない場合の「トイレ対策」として、事前に行えること、しておくことは？

Q 食料備蓄は何日分？
備蓄の保管場所は？

②(06:05~08:46)

感染症BCP対策



感染症BCPのポイント

正確な情報の入手・的確な判断

業務継続の主な問題点は「ヒト」のやりくり

物資調達・備蓄

感染防止対策が重要

②(08:47~13:55)

Q 備品の備蓄場所は？

正確な情報の入手・的確な判断

- ・新たに流行した感染症による影響を正確に予測することは困難
- ・適切に対応していくためには、状況に応じて正確な情報を入手して、的確な判断をしなければならない
- ・職員や利用者様への感染リスクや事業を運営していくための収入の確保など、さまざまな面から業務を継続していけるか判断

②(13:56~19:07)

ヒトのやりくり・ 物資調達・備蓄

- ・職員が不足する可能性を考慮して、系列の事業所から職員を確保したり、退職者に応援を依頼したりするなど事前の対策が必要
- ・感染の拡大状況によっては、物流がとどこおる可能性がある。物流が混乱すると水や食料などの必要な物資の補充が難しくなるため、備蓄も重要なポイント

Q ガウンテクニック大丈夫？
ゾーニングシュミレーション
できますか？

②(19:08~23:21)

感染防止対策

感染対策の徹底

消毒・掃除 検査
面会制限
ゾーニング PPE（防護服）

*感染拡大を防止するために隔離
濃厚接触者の特定など、迅速に対応できる
ように計画する

③(00:00~05:05)

入所系事業所BCP

自然災害BCP

- ・サービスの継続が重要
- ・被災時に限られた資源を有効に活用する
- ・行政の支援が開始される目安となる被災後
3日間は業務を継続できるだけの備蓄を用意する

感染症BCP

- ・重症化リスクが高い
- ・集団感染が発生するリスクがある
- ・感染拡大の防止が重要

③(05:06～13:25)

通所系事業所BCP

自然災害BCP

- ・緊急連絡先を把握しておく
- ・サービスの休止や縮小を余儀なくされることを想定し、他事業所の訪問サービス等への変更を検討

感染症BCP

- ・利用者や家族が独断でサービスの利用を停止する可能性
- ・必要な介護サービスが提供できなくなる可能性があるため、必要性や感染対策についての説明が重要

まとめ

BCPの策定は事業所（法人）の義務

作成に関わらない職員であってもBCPの存在は知っておかなければならない

BCPに沿っての研修・訓練の実施（年2回）

貴事業所・貴施設のBCPを確認して下さい

